

福祉保健生活環境委員会 県内所管事務調査の概要

【令和2年7月28日（火）】

◆調査箇所：社会福祉法人 津久見市社会福祉協議会（津久見市中央町）

＜概要＞

津久見市社会福祉協議会から、市内の各自治会の様々な課題解決に取り組むため、総合相談体制として構築する五つの事業（総合相談窓口、地区社協の設置による地域内の支え合いの仕組みづくり、関係機関のネットワークの立ち上げ、民生委員との情報共有によるネットワークづくり、住民参加型の有償ボランティアによる生活支援サービス）について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・コロナ禍での見守りやサロンの実施について
- ・コロナ関係の貸付件数について
- ・高齢化率80%超の地区に対する取組について

◆調査箇所：豊肥保健所

＜概要＞

豊肥保健所から、新型コロナウイルス感染症の国内、県内及び豊肥保健所管内のこれまでの感染状況、管内の医師会や個々の医療機関及び市町村との情報共有や連携、患者発生時の保健所の対応等について、それぞれ説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・職員の勤務体制や風評被害について
- ・秋以降のインフルエンザ流行期の検査体制について
- ・HER-SYSについて

【令和2年8月20日（木）】

◆調査箇所：中津児童相談所、北部保健所、北部保健所豊後高田保健部

＜概要＞

中津児童相談所から、組織・職員の配置状況、管内の概況及び児童虐待・非行等の相談・支援、里親委託の推進等の概要について説明を受け、意見交換を行った。

また、北部保健所から、新型コロナウイルス感染症の国内、県内及び北部保健所管内のこれまでの感染状況、管内の医師会や個々の医療機関及び市町村との情報共有や連携、患者発生時の保健所の対応等について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・他県と隣接する保健所としての独自の取組について
- ・児童相談所の職員体制の強化による影響について

◆調査箇所：NPO法人 まど（中津市中殿）

＜概要＞

NPO法人まどは若者等のサポートを目的として6年前に設立された法人である。

法人の事業の一つで、3月に福祉サービスとして認定されたこまどカレッジは、高等学校や支援学校高等部を卒業した知的障がいや発達障がいが見られる方に対して、自立支援や就労移行支援を行っている。

今回の調査では、開設までの経緯や開設後の苦労、課題等について意見交換を行った。また、こまどカレッジでの授業風景を見学した。



＜主な質疑等＞

- ・事業実施における地域の反応や地域との連携について
- ・子どもの反応や変化について
- ・行政の支援体制について

◆調査箇所：おおいた青少年総合相談所（おおいた子ども・若者総合相談センター、おおいたひきこもり地域支援センター、児童アフターケアセンター、おおいた、おおいた地域若者サポートステーション）

＜概要＞

不登校やひきこもり、就労等社会的自立に困難な悩みをかかえる青少年及びその家族を支援するために県が設置しているおおいた青少年総合相談所は、その相談内容に応じて四つのセンターがサポートを行っている。

各センターの業務概要、運営体制、相談者の傾向や課題について説明を受け、意見交換を行った。



＜主な質疑等＞

- ・深刻な事案に対する対応策について
- ・市町村の窓口について
- ・望まない妊娠等、女子特有の問題に対する支援について